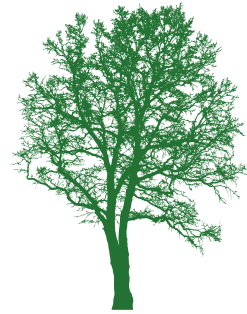


FUKUSHIMA

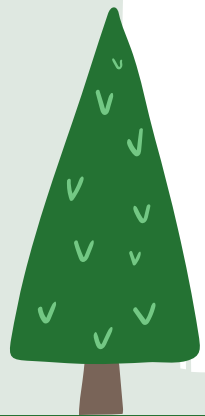
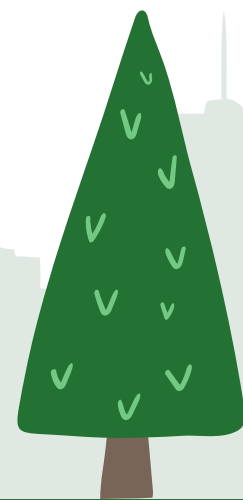
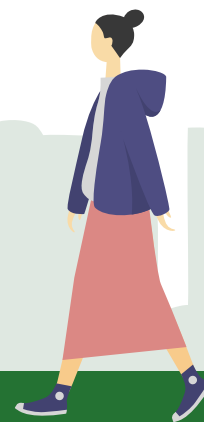
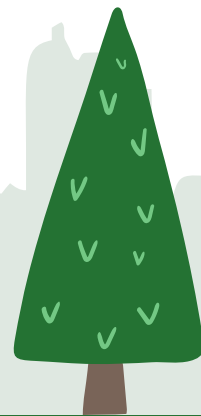
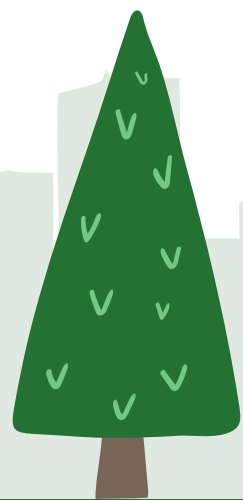
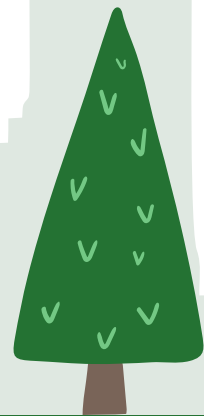
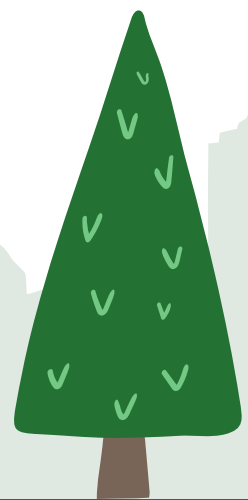


除去土壌を全国に  
受け入れてもらうための施策

福土

関西大学 山本高史ゼミ

岩下大樹 大石咲 大野航希 大毛一輝 吉川暖乃

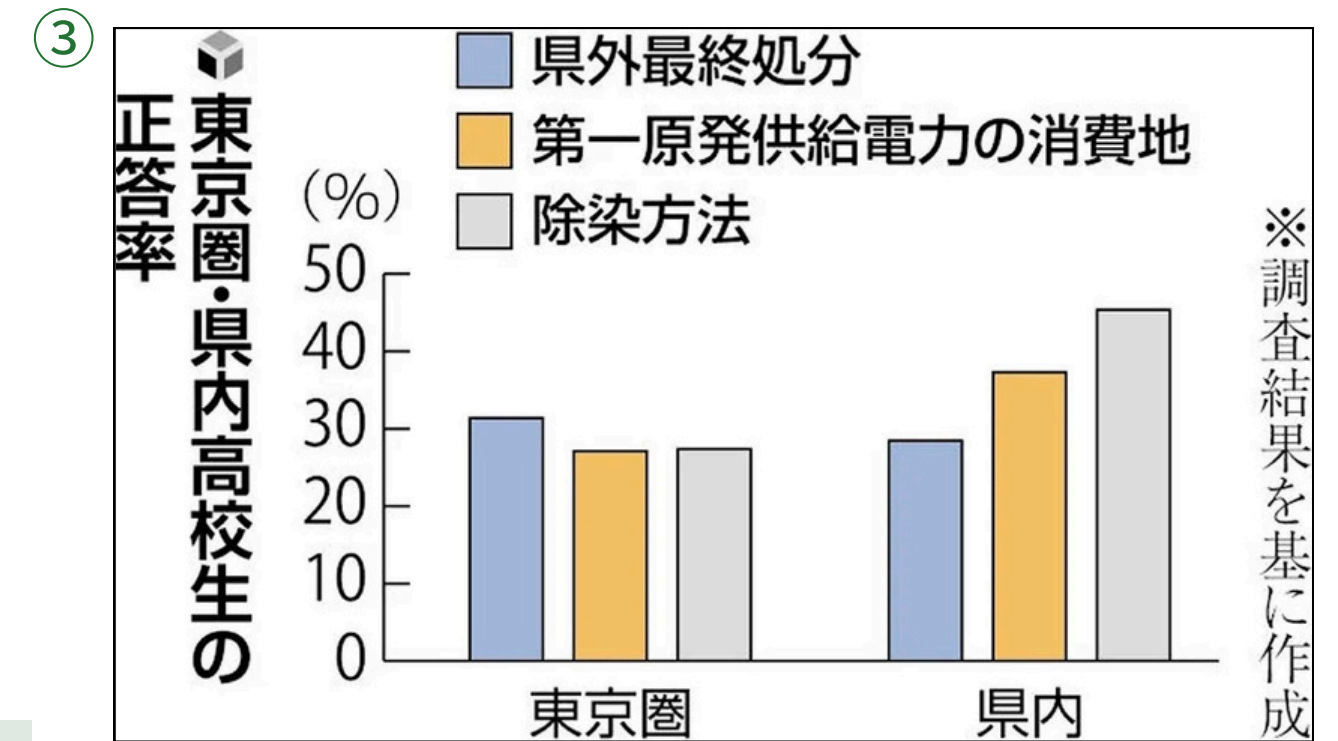


# 01

## 福島の除去土壌の現状・課題

- ① 2045年までに法的に県外処分する必要がある
- ② 福島から距離のある地域の認知度が低い
- ③ 若い世代の東日本大震災の記憶の風化
- ④ 放射線を一度浴びた土であるということから除染され安全であるにも関わらず悪いイメージがついている

▷ 除去土壌を再生利用するため  
土に対するマイナスイメージの除去  
若い世代、福島県外の**認知拡大**が課題となる



出典：<https://www.yomiuri.co.jp/pluralphoto/20240518-OYTNI50004/>

出典

[https://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/effort/investigative\\_commission/pdf/promoting\\_communication\\_210202\\_03.pdf](https://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/effort/investigative_commission/pdf/promoting_communication_210202_03.pdf)

# 02

## 除去土壌に対する私達の考え

一度は放射線で汚れて全く使い物にならなくなった土が、除染により再び使える「健康な土」になった  
=生命力、復活力の強い土である

除染されているため高品質で、使い道は多種多様な土  
受け手の東日本大震災に関する記憶の風化防止や災害意識の向上を促す力がある土  
貴重な資源土として国内で広く活用されることを通じて  
福島自体の認知度とイメージアップを図ることが出来る  
大量の土を再利用することで日本の発展に環境に配慮しながら貢献できる



このように多くの付加価値をもつ土を少しでも多くの人にとって良いものであると認識してほしいという思いから除去土壌を「福土」とネーミングして認知を広めたいと考えました

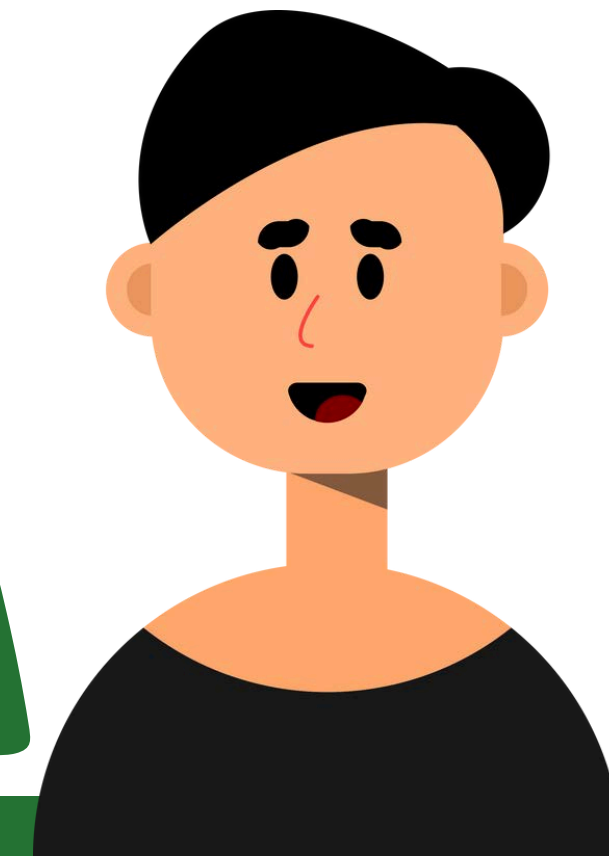
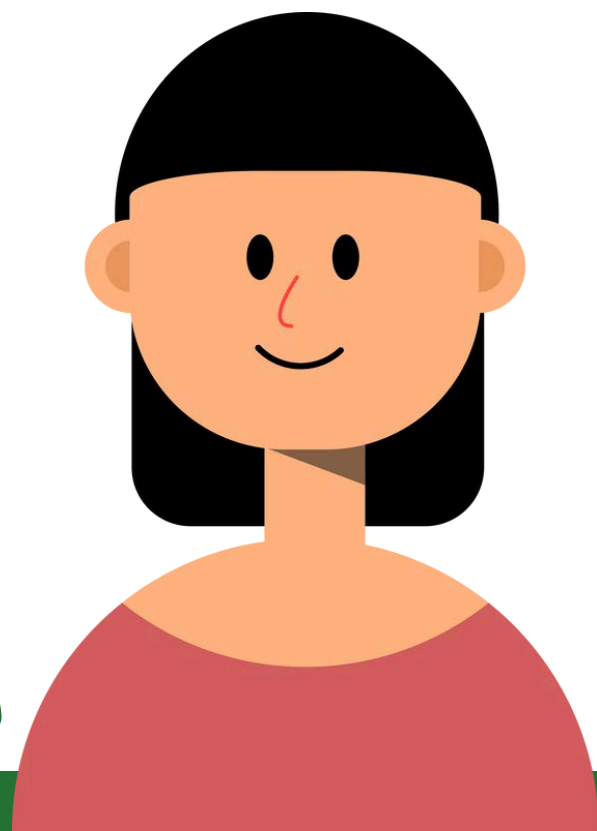


一度被害に遭ったが  
再び立ち上がり  
復興した福島県は  
「不屈」の地

「不屈」の地の  
除去土壌は  
「希望・復興の象徴」  
となる  
縁起の良いもの  
なのでは？

災害を経て再生した  
「福土」を通じて  
全国に幸せ  
未来への希望を  
もたらします

「福土」を  
コンセプトとした  
施策で  
人々に幸せを  
おすそわけします



# 04

## 施策① 展示会

目的：除去土壌を身近に感じてもらう

### ① 体験コーナー

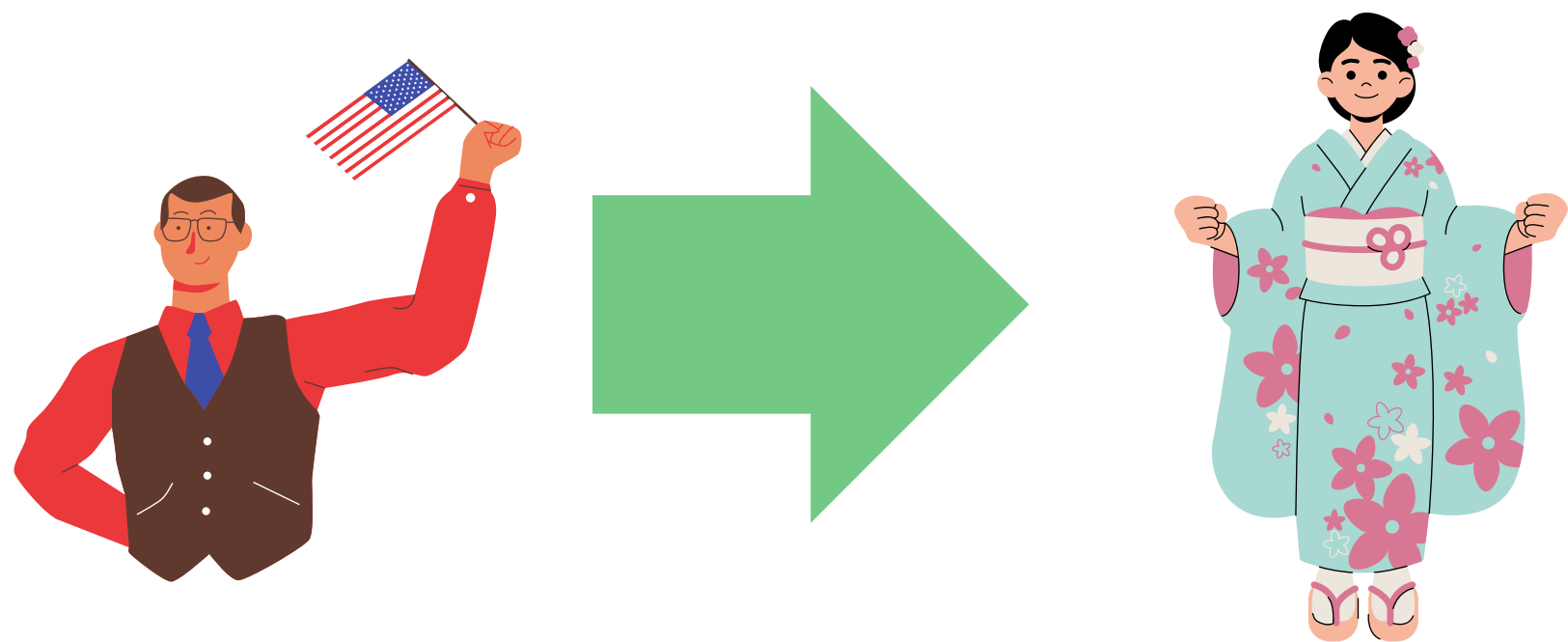
- ・ 除去土壌で作られた器に色塗り体験
- ・ 除去土壌で育てられた花が入ったビーズでアクセサリー作り体験

→インバウンド需要+流行に敏感な日本人を呼び寄せるというターゲティング

実際に除去土壌を使って完成した作品に触れることで土に対する恐怖心を無くし愛着を持ってもらうことができる

### ② アンケート実施

展示を見た前と後でアンケートを書いてもらい除去土壌を受け入れてくれる気になったかを調査  
→各都道府県に受け入れてもらうための説得材料として活用



### ③ HAMADO-RI-Café

#### <目的>

- ・展示会を堅苦しくならないようにする
  - ・若者の興味を引く
- InstagramなどでPRすることで話題を生み出す

#### <内容>

- ・若者受けするスイーツの提供  
ex: 「浜通り」にちなんだ海をイメージしたスイーツ
  - ・除去土壌を使ったレンガで囲まれた空間づくり  
除去土壌を原料としたモザイクタイルで装飾
- ※レンガ、モザイクタイル共に除去土壌を加熱処理して固めたものをコーティングすることで直接土とは触れないものにする。



<写真はイメージです>

## 施策② フラワートラック「幸せのトラック」

除去土壌を活用して育てた花を**巡回トラック**にて販売する  
「かつての悲しみ」の象徴とされた土で育ったお花が  
今では「**幸せを運ぶ**」お花に生まれ変わり  
全国を巡って人々に笑顔を届けることを目的としている

**効果①** 地域の理解促進：「除去土壌の活用」に対する

認知と理解が広がる

**効果②** 話題性向上：話題性を生むことで

SNSやメディアを通して広く関心が集まる

**効果③** 地域活性化：巡回先の地域でイベントが

開催されることにより

観光や地元産業の活性化が期待される

<写真はイメージです>



転んでもすぐに起き上がることから  
粘り強さ、健康、成功  
不幸を乗り越えるシンボルとして  
福島県で有名な縁起物である

おきあがりこぼしの材料に「福土」を活用する  
→ふくしま応援ポケモン「ラッキー」の絵柄が  
プリントされた卵型おきあがりこぼしとして販売  
幸せを運ぶラッキーに模した縁起物で  
全国の人々に「福」をもたらすという想定



※写真は張り子のラッキー

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures  
Inc./GAME FREAK inc.  
ポケットモンスター・ポケモン・  
Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・  
ゲームフリークの登録商標です。

